



令和6年度

# 新庄小学校だより 10月号



## 創校 152 周年 ～10月10日～

明治5年8月に「学制」が公布され、2か月後の10月10日、新川神社神職舟木宅を借り受け「新庄学校」が開校されました。つまり、新庄小学校は、今年で創校 152 年目を迎えることになります。

本校が現在の場所に移ったのは、開校後30年ほど経った頃だそうです。校門には本校の場所が新庄城跡であることを記した解説看板が設置されています。16世紀中頃に築城された新庄城は西に荒川が流れ、要害堅固な城郭であったと伝えられています。その本丸には釣鐘のような形をした樹高20mを超える大きな松が、天空を貫くようにそびえ立っていたそうです。

校内には、新庄城にまつわる物があちこちに保管、展示されています。職員玄関を入るとすぐに、田添等楊氏の絵画『新庄城幻想』が飾られています。そして廊下には釣鐘松の一部がガラスケースに入って保管されています。職員室内には、新庄城主の子孫である三輪晃久氏（日展作家）が描いた『誕生日』の絵画が飾ってあります。

毎年訪れる学校の誕生日（創校記念日）ですが、1年に一度、子供たちも教職員も改めて学校が歩んできた歴史を振り返りながら、新庄のことをみつめる機会にしたいと思います。

なお、創校を祝し、11月には全校で「新ちゃん」祭りを開催する予定にしています。



【新庄城幻想に描かれた松】

## 連絡帳の変更について ～端末の活用～

現在、連絡帳を用いて、家庭での学習や翌日の学習予定等についてお知らせをしています。連絡帳は、担任が板書した連絡事項を自分の手でノートに書き写すことで、子供自身が翌日の予定を自覚し、見通しをもって準備できるよさがあります。しかし一方では、子供の書き写す時間や、担任の確認する時間がかかること、下校前の時間を圧迫させていることなどが課題となっています。さらに、連絡事項の誤記入や欠席児童への連絡抜けなどの課題もあります。

そこで、校内で協議し、子供には連絡帳の代わりに端末を活用して連絡事項を配信することとし、保護者あてに重要なお知らせがあるときは tetoru を利用することにいたしました。今後、子供に指導し、準備ができた学年から、端末に切り替えていきます。なお、家庭から学校への連絡手段としては、これまでどおり連絡帳を使用していただいてもけっこうです。ご不明な点は、学校にお問い合わせください。

## 地域の実情に合うように ～登校体制～

学校評価アンケートで登校体制についてのご意見がありました。学校としても、複数名（集団）で登校することの安心感や上級生が下級生をいたわりながら歩くなど社会性の向上といったよさがあるを感じながらも、諸般の事情により登校班の人数に偏りが生じていたり、集合時刻や集合場所の設定においても地域の実情に合っていなかったりするなど安全に関わる様々な課題が見られることに心配もしています。

このことについては、現在、学校運営協議会やPTA執行部とも協議を重ねているところです。まずは、これまで学校の教員が決めていた登校体制（班編制や集合場所や集合時刻）について、今後できるだけ地域や児童の実情に合うよう、保護者（PTA）と地域が中心となって決めていくという方向で検討を進めています。皆様のご理解とご協力をお願いします。